

世界かんがい施設遺産国内申請施設の概要一覧表

	施設名称 所在地	施設 分類	受益 面積 (ha)	建設後の 経過年数 (西暦年)	農業への 貢献等	特筆すべき技術的特長	伝統文化等	運営・管理	他機関による 評価	施設の 認知度	多様な主体 の参画	地域活性化	その他特筆 すべき事項
1	葛西用水 埼玉県羽生市、 加須市、久喜市、 幸手市、 春日部市、 越谷市、吉川市、 草加市、八潮市、 三郷市、 北葛飾郡杉戸町、 北葛飾郡松伏町 (12 市町)	水路	6,802	366 年間 (1660 年)	河川改修後の新田開発と利根川からの引水により14,000haの水田への農業用水の安定供給が図られ、食料の安定供給に貢献。	(1)利根川、荒川の河川改修（瀬替え）と農業用水開発 ・江戸の社会基盤を確立するために国家的プロジェクトとして、利根川、荒川などの河川改修（瀬替え）とその旧河道を利用して農業用水の開発が行われた。 (2) 河川の旧河道に「溜井」を設けた農業用水開発 ・河道の効率的な位置に堰上高の高い堰枠を設け、水位上昇と貯留を同時に行う「溜井」の築造。 ・「溜井」は洪水時には速やかな放流操作を可能とする施設として築造。 ・旧河道を用水路として利用することにより、用水路造成労力の低減が図られた。 (3)下流から段階的に進められた用水開発 ・下流葛西領から順次上流に水源を求め、段階的に複数の「溜井」を築造しながら最終的に大河川利根川に水源を求めた。 ・その結果、地域全体の水利システムを確立させた。 (4)広域的な反復利用形態 ・旧河道を利用した水利システムのため、溜井に上流域の農業用水の還元水を受け、広域的な反復利用という地域水循環を形成。 ・上流及び周辺の農業用水地域と有機的な関係を有し地域全体で水資源の有効活用を果たしている。	・琵琶溜井分水工の構内に創建された葛西宮において、現在も毎年農業用水の安全通水と豊作を祈願して祭事を開催。	・現在、主要な幹線水路は(独)水資源機構、国営造成の基幹的水利施設については埼玉県、その他の幹・支線水路は葛西用水路土地改良区によって適切に管理されている。 ・土地改良区では各幹線水路や支線水路の地域毎に配水ブロック代表者を選任し、用水配分や節水対応等ついて協議するとともに、その結果を用水調整委員会で審議決定した上で日々の配水管理を行っている。 ・埼玉県管理の基幹的水利施設の管理については、地域全体を統合的に水管理すべく、関係市町村をメンバーとする国営利根中央施設管理強化推進協議会で管理方針を協議しながら実施している。	・疏水百選に選定。 ・小学校社会科副読本に掲載。 ・施設名称が小学校の校歌に登場。	・建設業者、測量設計業者等による清掃ボランティア活動の実施。	・沿線市町による用水路用地の一部を活用した遊歩道整備と市民の利活用。 ・沿線市町が主体となり、桜、コスモスなどの植栽を活用した地域イベントを開催。 ・瓦曽根溜井の水面を民間団体がカヌーなどのレクリエーション利用。 ・瓦曽根溜井の上空で越谷市観光協会による花火大会の開催。 ・大落古利根川との共用区間で杉戸町が河川水面を利用した灯籠流しを開催。 ・地域住民等による清掃ボランティア活動の実施。	・開発当時の水利体系が現在も継続して維持されており、埼玉県東部の農業振興に大きく貢献している。 ・開削当時から時代の要請に応じて何度も施設改修が行われ、各時代の最先端の整備が実施され農業生産基盤を支えてきた。 ・葛西用水を含む地域を全国のモデル地区として、国営農業用水再編対策事業が新規創設され、水利施設の整備と高度な水管理システムの導入により農業用水の合理化が図られた結果、都市用水への転用が可能となり、首都圏の逼迫する水需要に貢献している。 歌川広重の浮世絵「名所江戸百景」として用水路の一部が描かれる。	